

東北労働金庫「ろうきん地域貢献ファンド」 2009年度
Bコース（備品購入応援コース） 助成事業報告書

年 月 日

団体名（ふりがな） とくていひえいりかつどうほうじんねっとわーくおれんじ 特定非営利活動法人ネットワークオレンジ

購入物品名 EPSON プロジェクター EH-DM2S（スクリーンセットモデル）

助成金を使って購入した物品の活用状況について、記述してください。
（購入した物品の写真は必ず添付してください。）

●購入物品



本体、リモコン、コード



スクリーン、収納袋、フレーム

●活用状況

- ①「ぼくらのクリスマス大作戦2009&まちづくりぼっかぼか交流会」にて
日時：平成21年12月19日（土）13：30～16：00
場所：気仙沼市地域交流センター 大ホール
参加協力：80名+18企業・団体



助成金を使って購入した物品の活用状況について、記述してください。(続き)

- プロジェクター使用の概要 -

ネットワークオレンジ最大規模のイベントとして、当日は当法人が運営する地域塾(障がい者の自立支援事業)の利用児・者や家族、地元の小学生や地域住民、ボランティアやサポーター、学校や他NPO、企業や関係機関等様々な人たちが参加し、ハンドベル演奏や人形劇上演、プレゼント交換や情報交流会等が実施されました。その中で、ネットワークオレンジの日々の様子を写真スライドショーとして上映し、その際にプロジェクターを使用しました。またイベント終了後に当日の様子を録画したDVDを事業所内で上映し、スタッフが映像を観ながら検証・反省会を行いました。

②「第3回 けせんぬま☆☆みらい塾」にて

日時：平成21年2月7日 13:00～16:00

場所：気仙沼市地域交流センター 交流室A・B

参加者：40名(地区民生委員、企業、行政、関係機関等)



- プロジェクター使用の概要 -

「けせんぬま☆☆みらい塾」は当法人啓蒙事業の柱として、「障害者と地域との共存・共生について考え合う」ことをテーマに実施しています。当日は(特活)せんだい・みやぎNPOセンター代表理事の加藤哲夫氏を講師に迎え、「今の社会、どうしてこんなに生きづらいのでしょうか?」というテーマでワークショップを行いました。プロジェクターはその進行の中で講師の話題提供、事例紹介を発表する際に使用しました。また「けせんぬま☆☆みらい塾」終了後に当日の様子を録画したDVDを事業所内で上映し、スタッフが映像を観ながら検証・反省会を行いました。

今回の物品購入によって、団体の活動や地域社会にどのような成果・効果がありましたか

プロジェクターはこれまでリースに頼っていましたが、それが常備されていることで、必要な時に迅速に使用できる便宜性が向上しました。当法人では中心事業である「地域塾」運営の他、啓蒙事業やイベント事業も積極的に取り組んでおりますが、プロジェクターを使用したプログラムを盛り込みやすくなり、内容も充実させることができました。「ろうきん地域貢献ファンド」の助成は今回で3回目になりますが、その実績により社会的信頼性が向上していることを実感しております。

今回購入した物品を活用して、今後、事業をどのように展開していきますか。また、その際に必要なものは何ですか

法人運営3年目を迎え、最近では代表理事小野寺美厚の講師派遣依頼も増えており、その際にプロジェクターを使用したプレゼンを計画しています。特に学校や地域の親の会から要望が多く、持ち運びのできる機材の常備は小・中規模での活動も活発化できると考えます。また平成22年度から新たに『『得る』講座』を企画。これは地域で活躍するサークルや自治会、NPO団体 etc を対象に、ネットワークオレンジが主催で「講座」を定期的開催、毎回テーマを変えて活動の「悩み解決のお手伝い」をする主旨の講座ですが、その際にもプロジェクターは必須機材となります。

上記の活動を実施する上で必要なものは、プレゼンする側のスキルアップと、要求に対して迅速に動けるフットワーク・体制であると考えます。またイベント時におけるサポーターの参画・協力も重要になってきていますので、組織マネジメント能力を高めるべく、勉強会や研修にも積極的に参加してゆきたいです。また便宜の上では特にイベント時などにトランシーバーや小型マイク等の必要性が挙げられております。

助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

収入の部

項目	金額（円）	内訳
ろうきん地域貢献ファンド助成金	99,750円	
合計	99,750円	

支出の部

項目	金額（円）	内訳
EPSON プロジェクター EH-DM2S(スクリーンセットモデル)一式	99,750円	
合計	99,750円	

<ろうきん>へのメッセージをどうぞ。

「ろうきん地域貢献ファンド」からの物品助成は、今回で3回目となります。1回目はDVDカメラ、2回目は看板やIHクッキングヒーター、防火設備等を助成いただきました。これまでいろんな場面で助成実績として紹介させていただき、皆様から高い評価を受けております。当法人では今後、障がいのある人たちの働く場づくりに積極的に取り組む方針であり、気仙沼地域における企業等とのコミュニケーションの活発化を図りたいと考えます。東北労働金庫様のCSR活動（NPOとの協働事例、施設製品採用コンペや、ろうきんアートギャラリー等）には非常に教わる部分も多く、常に関心を持って着目させていただいております。当法人の取り組みはまだまだ手探りの段階ではありますが、これからも「障がいのある人たちが、地域の中で自分らしく・楽しく・安心して暮らしてゆける環境の実現」に向け、頑張りたいと思います。